

12月の園だより

☆育てたいこと

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | ・気の合う友達と親しみ、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・思ったことや見たことを教師や友達に表現しようとする。 |
| 4歳児 | ・友達と一緒に遊ぶ中で、感じたことや考えたことを表現する。 ・冬が来たことに気づき、身近な冬支度の様子に関心をもつ。 |
| 5歳児 | ・友達と相談したり協力したりして遊びを創り出す楽しさを味わう。 ・冬の訪れを感じながら身近な自然に興味、関心をもち積極的に関わる。 |

R5.
富田林市立
喜志幼稚園



おいしいお米になるまで

以前にも園だよりでもお伝えしましたが、幼稚園で育てた浦野さんのお米（きぬむすめ）で11月17日におにぎりパーティをしました。苗やお米を提供してくださった浦野さんと、いつもお世話になっている尻谷さんを招いてご飯になるまでの動画（浦野さんと小川先生の合作）を見ました。PTAの役員さんから味付け海苔を一袋ずついただきました。ラップに包まれたご飯を自分でにぎり、おなかいっぱいいただきました。

5月末、園庭の角の花壇の土を掘りだしブルーシートを敷き、田んぼの土を運びました。6月6日に苗を植え、水を加減しながら入れ、浦野さんは休みの日には肥料をやりに来てくださっていました。暑い夏や台風を乗り越え、黄緑色の稲が9月半ばには黄金色に移り変わり、稲穂の重みで稲が垂れ下がりました。9月26日稲刈りをし、10日間干しました。収穫してから浦野家の手製の脱穀機で何日もかけて稲から米を外しました。粳すりは、すり鉢と野球のボールが丁度いい塩梅で出来ました。シートを敷いて粳すりをしましたが、パラパラと散らばってしまう米粒です。丁寧に1粒1粒、拾って透明の瓶に詰めていき、少しずつたまっていく様子を嬉しそうに眺めている子どもたちでした。

私も小さい頃、田舎のお爺ちゃんのお田んぼへ連れて行ってもらいました。刈られた稲を運んだり干したりする作業をしていた事を覚えています。稲刈りした後のポコポコした田んぼを走り回り、ワラが服を通り越してチクチクして気持ち悪かった事やワラを燃やして肥料にした焦げた匂いも忘れられない思い出です。お百姓さんが作ったお米だからと言われる時代でしたので、今でも最後の1粒まで大切にいただいています。

幼稚園のウサギたちは、このお米（きぬむすめ）のワラが好きです。どんな味がするのかな。ムシャムシャと美味しそうに食べています。これからの寒さ対策としてもワラを入れてあげたいと思います。お土産でいただいたお米はお鍋で炊いていただきました。食べ物を美味しくいただける幸せ、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

園長 辻野 雅子

12月の
未就園児広場の予定

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| ☆2歳児ばんだぐみ | (R2.4.2~R3.4.1生まれ) 1日(金)・8日(金)・19日(火) |
| ☆プチなかよし | (R3.4.2生まれ~) 13日(水) 10:00~育児相談等 |
| ☆園庭開放 | (R3.4.2生まれ~) 1日(金) 9:00~11:30 |

